

(別添7)

事業所名 グループホーム まごの手

## 2 目標達成計画

作成日: 令和7年 4月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	ご利用者様の現状や思いを職員間で共有し、満足いただける質の高い介護サービスの提供を目指す。	ご利用者様の要望や欲求を充足し、満足感のある言葉が聞かれる状態を実現する。	①ご利用者様本位の欲求充足支援の充実 介護計画にマスローの5大欲求の視点を取り入れた支援を実施し、実施内容および結果の記録を徹底する。	12ヶ月
2	55	利用者様の安全な生活を確保するため、人的支援および物理的環境の両面における支援体制の強化が課題である。	ご利用者様が安全かつ安心して生活できる環境を確保する。	①重複支援の防止および支援の完結の徹底、職員間のコーチングを通じた事故防止の強化 ②感染症および災害対策の強化(BCPの検討・整備および周知)	12ヶ月
3	13	職員個々の資質向上を図るため、体系的な人材育成方策の確立が課題である。	職場内において人材育成が継続的に実践できる体制を確立する。	①丁寧な言葉遣いの徹底 ②職員間の連携の強化および情報共有の促進 ③人事考課の継続的な実施 ④施設内学習会の計画的な実施および内容の充実	12ヶ月
4	18	外出支援を通じて、環境の変化による気分転換の機会を確保することが課題である。	外気浴等が日常的に実施できる体制を確立する。	①外気浴等が実施できるよう支援時間を調整し、継続的な実施機会を確保する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。